

たが、当町においては最小限にとどまり、カラムシやイモチ病等の発生も少なかったことから、1等米比率は、うるち米で99%と高い割合となっています。

また、生産調整の実施状況については、農家の皆さんのご理解とご協力により、目標を達成することができました。

◇産地づくり対策

産地づくり対策については、販売を目的とした転作の取り組みが進み、その中でも町の振興作物でありますアスパラガス(4・5ha)やヤマウド(17ha)、ネギ(3ha)、大豆(17ha)が増となるなど、転作の本作化が進んでいます。この結果、産地づくり交付金(3千9百万円)については、町に配分された総額をほぼ活用できる結果となりました。

次は20年産米の需要量に関する情報について、12月5日に国から都道府県別の生産目標数量が公表されました。20年産米の生産目標数量は、今後の需要見通しを基に、今年産米の過剰作付県に対するペナルティー等を考慮して算定されており、秋田県の場合は今年より4・9%減の47万4,810tとなりました。

各市町村の生産目標数量も今月中(12月中)には県より情報提供されることになっていきますので、情報が示され次第、町の水田協議会等において配分方針等を協議し、農家の営農計画に支障がないように対応していくこととなりますので報告します。

主な議案内容

◎12月20日に完成となる金沢体育館について、地方自治法の規定により金沢体育館設置条例の制定



完成した金沢体育館

◎監査委員の選任について

町監査委員2名のうち、民間から選任されている委員1名が平成19年12月24日をもって任期満了となるため、地方自治法の規定により委員の再任について異議なく了承

◆齋藤守一さん(荒町)

一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ8,389万8千円を増額し、予算総額を31億2,836万9千円としました。

歳入については、町税では旧温泉保養所と藤乃瀬温泉旅館分の入湯税を組み替えし、藤駒荘と同じくその他の項目に計上しています。地方交付税は、普通地方交付税の確定により増額の補正をしてい

ます。使用料及び手数料には、入居者増などによる生活支援ハウス「ぶなつち」の居室使用料や牛放牧料の確定により増額の計上をしています。

また、国庫支出金と県支出金には、各種事業の交付金額の内示や確定による増減の補正。繰入金には、普通地方交付税の増額に伴う財政調整基金繰入金への繰り戻し計上が主なものです。町債には、それぞれの事業の起債可能額の決定による増減の補正ですが、県貸付金の自立元気枠には、健康保養館改修工事分を新規の計上としています。

歳出については、総務費には、人件費や経常的な経費の増減のほか、選挙費の交付決定による補正、議場関連の工事費を新規に計上しています。民生費には、

介護特別会計繰出金の増額計上が主なものです。

また、農林水産業費には、各種事業の工事費の確定や精算による増減の補正。商工費には、健康保養館改修工事費の新規計上のほか、観光事業関連経費の増減を補正しています。土木費の道路維持費には、原油価格高騰の影響による燃料費(除雪機械の軽油)の増額、住宅管理費には朝日ヶ丘団地町営住宅の解体工事費を新規に計上。教育費には、経常経費(物件費)の補正のほか、米田小学校の閉校に伴う引越しの経費や選手派遣費補助金の精算による増減の補正。災害復旧費には、今年9月の大雨被害による応急工事関連費用の新規計上が主なものとなっています。

主な一般会計補正予算

(単位：千円)

歳入

普通地方交付税	133,402
生活支援ハウス居室使用料	1,230
牛放牧料	840
財政調整基金繰入金	△99,130
自立元気枠(町債)	50,800

歳出

議場工事関連(カーペット・照明器具取替)	2,000
財政調整基金積立金	16,501
介護特別会計(介護給付費分)繰出金	15,926
後期高齢者医療広域連合準備委員会負担金	1,013
健康保養館改修工事	57,600
朝日ヶ丘団地町営住宅解体工事	1,950
公共下水道特別会計繰出金	△3,977
公共下水道特別会計繰出金(特環下水分)	△8,890
学校備品等引越し委託料	470
選手派遣費補助金	△761
災害復旧応急工事	1,625